

藤井達吉コレクションFT1404《継色紙他》解説

凡例

- ・本資料は、愛知県美術館が所蔵する藤井達吉コレクションFT1404《継色紙他》を構成する全117点の目録である。
- ・多くの作品には藤井達吉による歌が変体仮名を交え、くずし字で書かれている。今回、愛知県美術館友の会 所蔵品管理サポート部会有志の協力を得て歌の解説を行い、その成果をまとめた。
- ・FT1404《継色紙他》を構成する個々の作品には名称が与えられていなかったため、下記の法則で名称を与えた。
 - ・歌が書かれた作品
解説された歌を元に、歌の初句5文字、もしくは初句と二句の5,7文字をとって名称とした。名称が同一となる場合は、元の変体仮名を添えた。
 - ・歌の書かれていない作品
描かれたモチーフを勘案し愛知県美術館学芸員が名称を与えた。
- ・各作品のデータは、コレクション番号、寸法（横×縦mm）、形状、頁数、備考および解説の順に記載した。
- ・解説部分は、作品名、くずし字の読み下し文および現代仮名遣い文の順に記載し、担当者名をイニシャルで付した。
- ・担当者名とそのイニシャルは、下記のとおりである。（五十音順、敬称略）

浅井國雄	K.A
新井玲子	R.A
伊藤雅子	MI
萩野孝	T.O
加藤喜美代	K.K
蟹江舟美	H.K
丹阿弥彰子	A.T
平松章子	A.H
武藤和子	K.M
村尾哲	S.M
- ・10点の作品には、収められた木箱の蓋裏に、藤井達吉の筆で歌が書かれている。画像とその翻刻文を掲載した。
- ・解説の文中において使用した記号の意味は下記のとおり。
 - ：剥落等により欠けている部分
 - ：文字は認識できるが解説できなかった文字
 - ()：剥落等により欠けており、かつ文字数が特定できなかった部分

編集 高木久子 (H.T)、脇屋佳秀子

FT1404《継色紙他》の基礎調査は愛知県美術館の副田一穂、中野悠、長屋菜津子、平瀬礼太が行い、高木久子、三浦みちるが調査補助を行った。

藤井達吉の歌を解説するにあたり、多大なご協力を賜りました愛知県美術館友の会所蔵品管理サポート部会の有志の皆様および碧南市藤井達吉現代美術館の土生和彦氏に、心から御礼申し上げます。



1404-3

440×310 掛幅 1幅
左下落款

白骨の出湯にあれば
志羅本祢乃い傳由尔あ連盤奈尔加
祢駕は牟久裳乃遊支起をけ布も見
て居李
(白骨の出湯にあれば 何か願わん 雲
の行き来を 今日も見えており) (T・O)



1404-2

300×899 掛幅 1幅
左下落款

白骨の出湯は楽し
之羅本祢乃い抒由盤堂ぬし波川奈都
乃曾婆も知と地萬支を東布天盤有
万しう萬之裳
(白骨の出湯は楽し 初夏の そば餅と
粽をとうては うましうましも) (A・T)



1404-1

287×172 掛幅 1幅
左下落款

山



1404-6

179×285 掛幅 1幅
左下落款「空」、巻止「新11」

人の世の旅寝か□□□
非東乃世能堂悲祢可□□□久さ万久羅
ち、波、許布しや萬を見○○尔
(人の世の旅寝か□□□草枕 父母恋
し 山を見○○に) (T・O)



1404-5

208×196 掛幅 1幅
左下落款

住之江の
春美の江乃支し乃萬都波羅登遠川神
和駕が於本来美のい天万し登己呂
(住之江の岸の松原 遠つ神 わが大君
の いでまし処) (H・K)



1404-4

400×720 掛幅 1幅
左下落款

小原ぬに
を婆羅ぬ二以九東勢許裳李し和連し
あ王連所()
おも波し奈
(小原ぬに 幾年こもりし 吾し哀れぞ
() 思わしな) (H・T)



1404-9
173×222 掛幅 1幅
左下落款「空」

老い同胞よ
を非波羅可良餘 布類散登二 牟東勢を
和可礼 都へル 須賀李天 い都九 遊九
可や
(老い同胞よ 故郷に 六十年を別れ 杖
にすぎりて いづく行くかや) (H・K)



1404-8
131×204 掛幅 1幅
左下落款「空」

わが庭に
和駕ル波丹 あ王能波奈乃 佐支ルけり
あ散に由布那二 和連加堂類可南
(わが庭に 栗の花の 咲きにけり 朝な
夕なに 吾語るかな) (K・M)



1404-7
121×238 掛幅 1幅
左下落款

白骨の 青葉若葉の (之羅本祢乃)
之羅本祢乃 あを葉和可葉能 面丹 之美
ぬ い傳遊ルあ礼盤 於毛布 許東 那志
(白骨の 青葉若葉の 目にしめぬ 出湯
にあれば 思うことなし) (K・M)



1404-12
最大203×最大214 掛幅 1幅

山の秀に
や末之秀ル 非東李之□□婆 奈尔東李所
雲止布駕 許東二 和堂里遊久□難
(山の秀に 一人し□□ば 何鳥ぞ 歌う
が如に 渡りゆく□な) (T・O)



1404-11
128×252 掛幅 1幅
右下落款

雪のあした
遊支のあし堂 所、呂安類気婆 美地のへ
に を久散の波なの 見礼ハ 有礼し裳
(雪のあした そぞろ歩けば 道の辺に
小草の花の 見れば嬉しも) (A・T)



1404-10
204×300 掛幅 1幅
左下落款「空」、左下署名「八十八空庵」

遙々に
波呂波呂丹 堂可や萬 遊け盤 堂ぬし可
りけり 登里止 可堂里川 波奈と 閑堂
李都
(遙々に 高山行けば 樂しかりけり 鳥
と語りつ 花と語りつ) (K・M)



1404-15

111×215 掛幅 1幅

庵庭の（以保尔波乃）
以保尔波乃 武面散支所面奴 有連し可李
計理 梅あ礼ハ許所い九 天布 も乃遠
（庵庭の 梅咲き初めぬ 嬉しかりけり
梅あればこそ 生くちようものを）
（K・A）



1404-14

197×238 掛幅 1幅

畏しや
可し許しや 散駕美の有美二 伊豆のうみ
あ佐日の可駕や起 閑志己 加李け類
（畏しや 相模の海に 伊豆の海 朝日の
輝き 畏かりける）
（K・K）



1404-13

130×206 掛幅 1幅

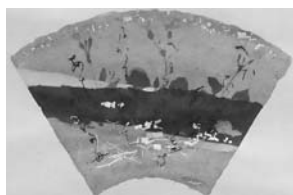
墨染の
春美所面乃 散九羅盤は い万を散可里 奈
李 遊布俱連 ち可美 堂悲をし所 おも
布
（墨染の 桜は今を 盛りなり 夕暮近み
旅をしぞ思う）
（K・A）



1404-18

最大268×最大217 掛幅 1幅
左下落款

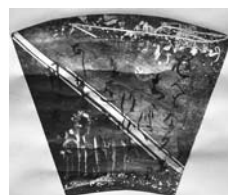
つるがみねに
都類駕 美祢二 あ面盤は 来二けり 夜盤は
あ計天 有俱非春 な支ぬ 波留な里 者
類那理
（つるがみねに 雨は来にけり 夜は明け
て 鶯鳴きぬ 春なり春なり）
（A・T）



1404-17

最大318×最大185 掛幅 1幅
左下落款

へぼ胡瓜
へ本起有里 和礼の 許東支 へ保き有李
万駕里 九祢李天 あ支乃 奈起可母
（へぼ胡瓜 吾のごとき へぼ胡瓜 曲が
りくねりて 飽きのなきかも）
（H・T）



1404-16

最大238×最大197 掛幅 1幅

故もなく
遊へもな久 ち、波、許非川 堂遅遠りし
あし堂の 月の光尔 あ里ぬ
（故もなく 父母恋いつ 立ちおりし 朝
の月の 光にありぬ）
（H・T）



1404-27

115×173 掛幅 1幅

百貫百貫
 ひやっかん ひやっかん
 百貫 百貫 堂い己 太ゝいて まいに
 け李 所能布乃 田楽 夜も春駕羅な留
 (百貫百貫 太鼓叩いて 舞いにけり 所
 能の田楽 夜もすがらなる)
 (A・T)



1404-26

131×178 掛幅 1幅

三拍子
 みっぴよし
 三川非餘之 布へと太い己を 夜春駕羅
 田駕久を 末布山人可那し
 (三拍子 笛と太鼓を 夜すがら 田楽を
 舞う 山人哀し)
 (R・A (K・M))



1404-25

185×903 掛幅 1幅
左下落款「空」

思いきや
 おも非支や い乃地堂万い轉 八十一
 気散能悲の傳を 於呂駕牟和礼波
 (思いきや 命賜いて 八十二年 今朝の
 日の出を 拝む吾は)
 (K・K)



1404-30

114×178 掛幅 1幅

吾が一世
 わがひとよ
 和駕一世 梅を許悲川、い閑さ連豆 許
 し さ堂面東やい王無 うめを見○○○
 (吾が一世 梅を恋いつつ 生かされてこ
 し 定めとや言わん 梅を見○○○)
 (T・O)



1404-29

147×225 掛幅 1幅

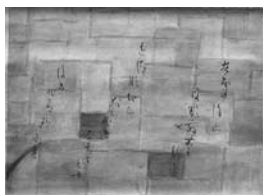
春雨の
 はるさめ
 波類散め乃 志久之九 布連盤 遊へ志良
 二ち、波々 許布之 和連 於非ぬ
 連抒
 (春雨の しくしく降れば 故知らに 父
 母恋うし 吾老いぬれど)
 (A・T)



1404-28

241×633 掛幅 1幅
左下落款、署名

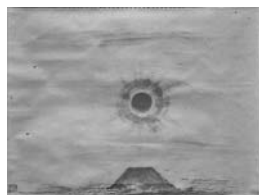
白玉は 人に知らえず
 (志羅堂万波 非東丹し羅へ春)
 志羅堂万波 非東丹し羅へ春 志良へも与
 し 和礼の美 之羅婆 非登二之良へ春と
 裳餘し
 (白玉は 人に知らえず 知らえも良し
 吾のみ知らば 人に知らえずとも良し)
 (H・T)



1404-33

580×429 掛幅 1幅
左下落款

夢の如（遊面の許止）
遊面の許止 波類散閑里 那李 遠佐那起
能おもひ傳 奈都閑之母 許乃非呂野可
裳
（夢の如 春盛りなり 幼きの 思い出懷
かしも この広野かも）
（A・T）



1404-32

601×449 掛幅 1幅
左下落款

日輪



1404-31

515×460 掛幅 1幅
左下落款、右下落款

真鶴の
萬奈都流の美閑無能 於もひ傳 有面遠奈
加類、 於も悲 し尔気李
（真鶴の 蜜柑の思出 夢を流るる 思
いにけり）
（H・T）



1404-36

130×231 掛幅 1幅
左下落款「空」、右下落款

故知らず 父母恋し
遊へし羅須 ち、波、 許非し ち、者々
乃 由閑し餘李裳 和礼 おひぬ礼止
（故知らず 父母恋し 父母の 逝かしよ
りも 吾老いぬれど）
（K・K）



1404-35

136×207 掛幅 1幅

このあした 相模□海□
古乃あし堂 散賀美□有美□ さへ散へ止
の古牟月の奈□ 可（ ）
（このあした 相模□海□ 冴々と 残ん
月のな□ か（ ）
（K・A）



1404-34

144×211 掛幅 1幅

土佐の国
登散の久尔 津寺御堂能 可祢能於東 八
重乃 さ久羅農 ち李所面尔計理
（土佐の国 津寺御堂の 鐘の音 八重の
桜の 散り初めにけり）
（S・M）



1404-39

154×184 掛幅 1幅
左下落款「空」

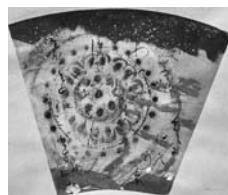
何故ぞ
奈爾遊へ所 所能由惠之 礼二 ち、波、
乃 許非し起ものを 和礼 を非ぬ礼抒
(何故ぞ その故知らに 父母の 恋しき
ものを 吾老いぬれど)
(H・K)



1404-38

196×252 掛幅 1幅
左下落款「空」

村人は
村人盤 三礼いをして 遊尔い里ぬ あ散
能 野良傳の ひ登遊あ美可難
(村人は 三礼をして 湯に入りぬ 朝の
野良出の ひと湯浴みかな)
(K・K)



1404-37

最大269×最大215 掛幅 1幅
左下落款「空」

醜草の
之許久散能 和礼能 非東世乃 許古呂
や須散餘 堂駕堂めに さ九二波あ羅傳
堂々 佐久 可裳
(醜草の 吾のひとよの 心やすさよ 誰
がために咲くにはあらで ただに咲くか
も)
(K・K)



1404-42

208×302 掛幅 1幅
左下落款、署名、巻止「新13」「13」

天が下(安面駕し太)
安面駕し太 和礼志類もの盤 和礼の美所
久散のい本里 あ起堂ち二 け理
(天が下 吾知るものは 吾のみぞ 草の
庵 秋立ちにけり)
(K・K)



1404-41

209×308 掛幅 1幅
左下落款、巻止「新6」

久方の
非散 閑堂乃 都久夜遠 支餘美 牟の波
奈己、呂仁さ起轉 あ駕も恵留 来美
(久方の 月夜を清み むの花 心に咲き
て 吾が思える君)
(K・M)



1404-40

最大325×最大252 掛幅 1幅
左下落款2個、巻止「新1」

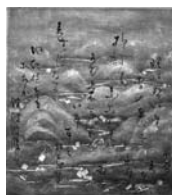
上潮の
あ氣志本の 奈美を 見轉を里 波類日所
も 保無々布祢駕 ひ登川久留可毛
(上潮の 波を見ており 春日ぞも ぼん
ぼん船が 一つ来るかも)
(K・M)



1404-45

137×391 掛幅 1幅
左下落款、巻止「新19」「16」

山の花（や萬の波奈）
や萬の波奈 於もへ盤 奈川可し あの家
万阿濃佐和 面尔有加布可裳
（山の花 思えば なつかし あの家あ）
沢目に浮かぶかも
（A・T）



1404-44

249×280 掛幅 1幅
左下落款、「新18」「3」

流星だ
理遊勢い堂 李由世太 抒許堂 東古尔
堂 尔む気牟とい 布牟之け良駕 春無
傳る留 地起遊布堂 所布か 波波波登
か勢い登 春い世い 和羅川天 る太
（流星だ 流星だ どこだ どこにだ 人間とい
う 虫けらが住んでいる地球だ そうか
はははと 火星と水星 笑っていた）（K・M）



1404-43

217×199 掛幅 1幅
左下落款、巻止「新16」「2」

何処行くや
以津己遊久也 志羅止李牟連 所羅堂加九
和連乃世天遊九与 以都久遊久止母
（何処行くや 白鳥群れ 空高く 吾乗せ
て行くよ 何処行くとも）
（K・M）



1404-48

164×215 掛幅 1幅
左下落款「空」、巻止「新28」

茶のみかや
茶の美可や 止己之へな起 気布の月○
あ羅ぬ可岐李乃 一期一会□
（茶のみかや 常しえなき 今日月○
あらぬ限りの 一期一会□）
（T・O）



1404-47

最長93×最長107 掛幅 1幅
右下落款、巻止「27」「新24」

ゆへも見し
遊へも見し や万の堂非祢能 有連し佐餘
非東李 之川可仁 和連盤 遊九可母
（ゆへも見し 山の旅寝の 嬉しさよ 一
人静かに 吾は行くかも）
（H・K）



1404-46

187×270 掛幅 1幅
左下落款、署名「八十翁空庵」、巻止「新23」「5」

これの世に（古連の世に）
古連の世に 美や万に い類己所 加し古
気礼 堂々 尔於呂駕無 許の閑志己佐丹
（これの世に 深山にいるこそ 畏けれ
ただに拜む この畏さに）
（S・M）



1404-57

165×262 掛幅 1幅
左下落款、八双「15」

道の辺の
美地のへ能久佐東閑堂礼者堂ぬし来
毛の飛登李堂ひ春留和禮尔天あ連婆
(道の辺の 草と語れば 楽しきもの一
人旅する 吾にてあれば)
(K・M)



1404-56

90×98 掛幅 1幅
左下落款、卷止「51」、「26」

行くも良し
遊久も餘し可へ留も万堂与しか二閑
九二非東の世の堂ひけ布も可散ぬ留
(行くも良し 帰るもまた良し かにかく
に 人の世の旅 今日も重ぬる)
(A・T)



1404-55

106×120 掛幅 1幅
左下落款、包み紙「新27」、卷止「新49」

八十と
八十登七十七乃波羅可良尔東所
遠い波以豆曾、呂安留幾奴
(八十と 七十七の同胞に 屠蘇を祝いて
そぞろ歩きぬ)
(H・K)



1404-60

191×242 掛幅 1幅
左下署名

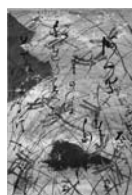
月思えば
月毛へ婆堂ぬし可利希理月見礼盤
於毛布許登那し月餘月月
(月思えば 楽しかりけり 月見れば 思
うことなし 月月月月)
(S・M)



1404-59

273×601 掛幅 1幅
左下落款「空」

ある時は(安類東起盤)
安類東起盤十方空登於もへ抒裳さと東
理閑祢太流和連を阿波礼面
(ある時は 十方空と 思えども 悟りか
ねたる 吾を哀れめ)
(T・O)



1404-58

119×178 掛幅 1幅
左下落款2個、八双「21」

天が下(阿め駕し堂)
阿め駕し堂和□し留もの波和連
の美所久散い保尔波裳あ幾太地尔
けり
(天が下 わ□知る者は 吾のみぞ 草庵
庭も 秋立ちにけり)
(H・T)



1404-63

98×116 掛幅 1幅

白玉は 人に知らえず
 (志羅堂万波 非東二之羅へ春)
 志羅堂万波 非東二之羅へ春 之良へ東堂
 も与し 和礼の美 し羅盤 之東二之羅へ
 須登も餘し
 (白玉は 人に知らえず 知らえどたもよし
 吾のみ知らば しとに知らえずともよし)
 (A・H)



1404-62

204×302 掛幅 1幅
 右下落款

故知らに 父母恋し
 遊へ志羅二 知、波、許非し 於ひぬ連轉
 地、波々許非志 堂々に許非し裳
 (故知らに 父母恋し 老いぬれて 父母
 恋し ただに恋しも)
 (K・M)



1404-61

122×159 掛幅 1幅
 左下落款

年長けて
 東し堂計旦 和礼布類散登二 起丹計里那
 遠散奈き已登久 婦留支 美地遊九
 (年長けて 吾故郷に 来にけりな 幼き
 如く 古き道行く)
 (A・H)



1404-66

173×168 掛幅 1幅
 左下落款「空」

山の花 (也萬乃波奈)
 也萬乃波奈 可気盤 堂ぬし裳 い久東勢
 を 堂悲乃 於も比傳 面尔有布可布可裳
 (山の花 描けば楽しも 幾年を 旅の思
 い出 目にうふかぶかも)
 (K・M)



1404-65

156×340 掛幅 1幅
 左下落款「空」

人の世の 旅寝重ねて (悲東乃世能)
 悲東乃世能 堂非祢閑散 祢天 久散万久
 羅 志那乃、於久丹 希布を 許裳連類
 (人の世の 旅寝重ねて 草枕 信濃の奥
 に 今日をこもれる)
 (A・T)



1404-64

617×474 掛幅 1幅
 左下落款

故郷も
 布留散都裳 波留散可李那理 奈都閑之乃
 己礼能 非呂ぬ耳 非婆里乃 あ駕礼類
 (故郷も 春盛りなり 懐かしの この
 広野に 雲雀の上れる)
 (A・T)



1404-69
最大212×最大239 掛幅 1幅
左下落款

老いぬれば 願うことなし
遠非ぬ連盤 禰駕布 許止奈志 いたづらに
丹 有めを 可支都々 悲止里 たぬし裳
(老いぬれば 願うことなし いたづらに
梅を描きつつ 一人楽しも)
(A・T)



1404-68
205×296 掛幅 1幅
左下落款

庵庭の (い本尔波乃)
い本尔波乃 堂気の 古牟礼能 お東の
散やけ佐 さ散 () 所の遊へし
□に 於登のさやけさ
(庵庭の 竹の小叢の 音のさやけさ ささ
() その故し□に 音のさやけさ)
(K・K)



1404-67
96×389 掛幅 1幅
左下落款「夢」

老いぬれど (を悲ぬ連抒)
を悲ぬ連抒 ち、波、許非し 遊へし羅二
堂々丹 許布し裳 和連を非 ぬ札東
(老いぬれど 父母恋し 故知らに ただ
に恋しも 吾老いぬれど)
(A・T)



1404-72
105×376 掛幅 1幅
左下落款「空」

夢か夢か
夢か夢か有都々可 有川々都な類や
万乃を久抒に 和連盤 堂ちを理
(夢か夢か 現か現 つななる 山の奥所
に 吾は立ちおり)
(A・T)



1404-71
123×139 掛幅 1幅

誰が為に (堂駕太面尔)
堂駕太面尔 散久尔波 あ羅し い本に波
乃し許の 志許久散 い万さ可李 那類
(誰が為に 咲くにはあらじ 庵庭の 醜
の醜草 今盛りなる)
(H・K)



1404-70
182×203 掛幅 1幅

梓川 (あ川佐可波)
あ川佐可波 加波乃本止李の あ散美草
許の世乃 可岐里 止布東可里 鶏里
(梓川 川のほとりの あざみそう この
世の限り 貴かりけり)
(A・H)



1404-75

132×237 掛幅 1幅
左下落款

懸け樋落つる
可^かけ樋^ひを都^つ類^る
を^{でん}田^{がく}楽^み見^とむ登^と
（懸け樋落つる 水の音だに 寒き夜を
田楽見んと 一人待つ吾は）
（T・O）



1404-74

137×175 掛幅 1幅
左下落款「空」

能^のもな^ふき
能^な布^きも 那^な起^き 和^わ駕^が末^ま、和^わ礼^れを 七^{しち}十^{じゅう}五^ご
年^{ねん} 餘^よ九^く裳^も い支^き許^こ之^し 以^い可^か散^{さん}礼^れ天^{てん}来^きし
（能もなき 我まま吾を 七十五年 よく
も生き来し 生かされて来し）
（A・H）



1404-73

142×390 掛幅 1幅
左下落款「空」

人^{ひと}の世^よの 旅^{たび}寝^ね重^{かさ}ねて（非^ひ東^との世^よ能^の）
非^ひ東^との世^よ能^の堂^た悲^ひ称^ね可^か散^{さん}称^ね天^{てん} 久^く佐^さ万^ま久^く羅^ら
遊^{ゆう}久^くへも志^し羅^ら○ け布^ふもかさぬ類^る
（人の世の 旅寝重ねて 草枕 行方も知
ら○ 今日も重ぬる）
（A・H）



1404-77

187×293 掛幅 1幅
左下落款

人^{ひと}の世^よの 旅^{たび}寝^ね重^{かさ}ねて（非^ひ東^との世^よ乃^の）
非^ひ東^との世^よ乃^の 堂^た悲^ひ称^ね 可^か散^{さん}称^ね旦^{たん} 七^{しち}十^{じゅう}九^く
年^{ねん} 志^し羅^ら本^{ほん}称^ねの散^{さん}登^{とう}二^に 和^わ連^{れん}盤^{ばん} 許^こも 連^{れん}
類^る
（人の世の 旅寝重ねて 七十九年 白骨
の里に 吾はこもれる）
（A・T）
非東の世の堂悲称可散称旦 七十九年 志羅
本称の散東二和連盤許も連類



1404-76

147×343 掛幅 1幅
左下落款

海^{うみ}の底^{そこ}
和^わ太^たの所^{ところ}許^こ 於^お支^き川^{つた}堂^た萬^ま藻^も乃^の 奈^なの李^り處^その
波^は奈^な いも止^と和^わ連^れ 古^こ々^々に^にあ^あ里^り東^{とう}那^な能^の李^り
所^{ところ}乃^の波^は那^な
（海の底 沖つ玉藻の 莫告藻の花 妹と
吾ここにありと 莫告藻の花）
（K・M）



和駄の所許於支川堂萬藻乃 なの李處の波奈
いも止和連 古、尔あへ里東那能李所の波奈



1404-79



119×301 掛幅 1幅
左下落款

あ李川、裳御見し太波む所 於、東の能も
止波里の遊支那 布美曾祢

ありつつも
あ李川々裳 御見し太はむ所 於、東乃能
も止波里の遊支那 布美曾祢
(ありつつも 御見したわんど 大殿の
もとはりの 雪な踏みそね) (A・H)



1404-78

284×178 掛幅 1幅
左下落款

与しのちの堂非祢おも本遊 波呂者呂にち、
波、許非之あし堂遊布へ丹

吉野路の
与しのち能 堂非年おも本遊 波呂者呂耳
ち、波々 許非之 あし堂 遊布へ丹
(吉野路の 旅寢思ほゆ はろばろに 父
母恋し 朝夕に) (A・T)



1404-81



最大200×最大155 掛幅 1幅
左下落款

志奈のち乃堂非祢波 有連し い久東勢のお
も悲傳も可も堂、可波の於止

信濃路の
志奈の地乃 堂非祢波 有連し い久東勢
乃 おも非傳も 可裳 堂々 駕波能 於
止と
(信濃路の 旅寢は嬉し 幾年の 思い出
もかも ただ川の音) (K・M)



1404-80



198×273 掛幅 1幅
左下落款

美や萬路乃己能幾餘けさ餘 あし堂遊布へ
所の遊へし羅に堂、尔お呂駕牟

深山路の
美や萬路乃 己能幾餘けさ与 あし堂遊布
倍 所の遊へ 之羅二 堂、二に を呂賀牟
(深山路の この清けさよ 朝夕 その故
知らに ただに拝む) (K・K)



1404-83

167×222 掛幅 1幅
左下落款

お、手非呂氣和連盤 堂、へ牟 伊予の久仁
乃幾久万能波末乃 夕日所羅波母

大手広げ (於、手非呂氣)
於、手非呂氣 和連盤 太、へ無 伊予乃
久尔乃 幾九末乃波末乃 () 日所
良波裳
(大手広げ 吾は讃えん 伊予の国の 菊
間の浜の () 日空はも) (K・K)



1404-82

187×279 掛幅 1幅
左下落款

志那のちを悲東李来ぬ連盤ち、波々の許悲之
可李け李 和連を非ぬ連抒

信濃路を
志那乃ぢを 非東李 来ぬ連盤 ち、波々
乃 許悲之可李計李 和連をひぬ連抒
(信濃路を 一人来ぬれば 父母の 恋し
かりけり 吾老いぬれど) (K・M)



1404-85

102×336 掛幅 1幅
左下落款

あ川佐可波か者の本止李能 あさ美登李 阿
面尔ぬ連川、有川久し記ものを

梓川 (あ川佐加波)
あ川佐加波 可者乃本止里能 あ散美止梨
阿面尔 ぬ連川 有川久し起 ものを
(梓川 川のほとりの 浅緑 雨に濡れつ
美しきものを) (T・O)



1404-84

178×286 掛幅 1幅
左下落款

夢か夢有川、か有川、 志羅本祢乃 や万の
を久抒二非東里堂ちを李

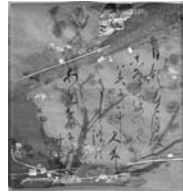
夢か夢 現か現(夢か夢 有都々か有川々)
夢か夢 有都々か有川々 志羅本祢乃 や
万のを久抒に 非東里 太地を李
(夢か夢 現か現 白骨の 山の奥所に
一人立ちおり) (A・T)



1404-88

最大510×最大212 まくり 1枚
左下落款

草の上
久散の有へ 遠遅盤 雲連しも 志都けさ
や 波奈波奈の 堂駕 堂面な羅須 志都
許々呂 散九
(草の上 落葉嬉しも 静けさや 花々の
誰が為ならず 静心さく)
(K・M)



1404-87

340×358 まくり 1枚
左下落款

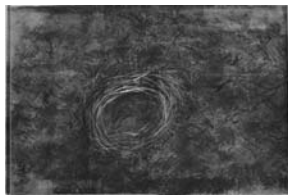
日向ぼこ
日那堂保許 古布婆い見都々 美可牟久布
与し波万乃 さ東 和連遠非丹 計李
(日向ぼこ 紅梅みつつ 蜜柑食う 吉浜
の里 吾老いにけり)
(H・K)



1404-86

440×306 まくり 1枚
左下落款「空」

月出でぬ
つ起い傳ぬ う連し支可李鶏里 許礼の世
二都支 能奈可里 勢盤 以可丹 散美
之可留 羅面
(月出でぬ 嬉しきかりけり これの世に
月のなかりせば いか寂しかるらめ)
(A・T)



1404-91

369×250 まくり 1枚
左下落款、署名

鳥の巢



1404-90

345×370 まくり 1枚
左下落款「空」

野の花を
野乃波奈遠 非登波奈 久連餘 ち、波、
能 久与布の 所能布類 者奈尔弓 あ礼
波
(野の花を 一花くれよ 父母の 供養の
供うる 花にてあれば)
(K・M)



1404-89

156×577 まくり 1枚
左下落款

釜の音か
釜能音閑 向川 丘の松風可 之俱連の音
か 五位な起和堂類
(釜の音か 向つ丘の 松風か 時雨の音
か 五位鳴き渡る)
(A・T)



1404-94

365×485 まくり 1枚
左下落款

人の世の 旅寝は寂し
 非東の世能 堂悲年盤 散美し 久さ末九
 羅 遊久へも志礼春 気布も可佐ぬ類
 (人の世の 旅寝は寂し 草枕 行方も知
 れず 今日も重ぬる)
 (A・T)



1404-93

286×340 まくり 1枚
左下落款、署名

これの世に (許連の世尔)
 許連の世尔 柎駕布 己登那之 散里奈駕
 良 古々呂 志都可仁 安羅さ勢 堂万へ
 (これの世に 願う事なし さりながら
 心静かに あらさせたまえ)
 (K・M)



1404-92

300×460 まくり 1枚
左下落款

丘の辺に
 を可のへ尔 散気類都々しの 奈都可之裳
 与 おさな岐 於も非傳 遊面濃許登久尔
 (丘の辺に 咲けるつつじの 懐かしもよ
 幼き思い出 夢の如くに)
 (A・T)



1404-97

213×878 まくり 1枚
左下落款

水底に
 美那曾己にお布類堂末裳の有地な非起
 許々呂遠餘天 古雲留 許能己呂
 (水底に 生うる玉藻の 打ちなびき 心
 をよて 恋うるこの頃)
 (A・T)



1404-96

191×658 まくり 1枚
左下落款

高山に (堂閑也万二)
 堂閑也万二 志川閑に散気類 波那の可之
 許散与 堂駕堂面那羅須 志都可仁散け
 類 波奈乃可し古佐
 (高山に 静かに咲ける 花の畏さよ 誰
 が為ならず 静かに咲ける 花の畏さ)
 (K・M)



1404-95

414×最長855 まくり 1枚
左下落款

山深く 入り極まれば
 (や萬布可久 い李起波万礼盤)
 や萬布可久 い李起波万 礼盤 許礼の世
 二 和連悲東李可止 於も非ぬ留閑難
 (山深く 入り極まれば この世に 吾
 一人かと 思いぬるかな)
 (A・T)



1404-100

182×228 まくり 1枚
左下落款

武蔵野の
牟散しぬの 和加葉能
弓波李月波 迦、李弓 有へるし川可も
(武蔵野の 若葉の上に 静かも 弓張月
は かかりてありけり)
(A・T)



1404-99

最長105×111 まくり 1枚
左下落款

人の世の 旅寝重ねて
(非東の世能 堂悲祢可さ年天)
非東の世能 堂悲祢 可さ年 天 けさも
萬當 あ支の や万ち遠 飛東り 遊久那
李 (人の世の 旅寝重ねて 今朝も又 秋の
山路を 一人行くなり)
(A・T)



1404-98

95×91 まくり 1枚
左下落款

梅思えば (雲面母惠婆)
雲面母惠婆 堂奴し 可り 氣里 有面
可気盤 う礼之可りけ李 梅与梅面
(梅思えば 樂しかりけり 梅描けば 嬉
しかりけり 梅よ梅め)
(K・K)



1404-103

134×180 まくり 1枚

朴の葉の
朴の葉能 障子尔有都留 月可けを 非東
李見て を理 を婆羅の い保に
(朴の葉の 障子に映る 月影を 一人見
ており 小原の庵に)
(A・T)



1404-102

最長165×最長211 まくり 1枚
左下落款

久にして
非散尔して 所々呂 あ留計者 波奈乃
さ加里所 遊久佐久留さ乃 悲止乃 寸駕
之母 (久にして そぞろ歩けば 花の盛りぞ
行くさ来るさの 人の清しも)
(H・K)



1404-101

84×103 まくり 1枚
左下落款

継色紙「無題」



1404-106

148×191 まくり 1枚

庵庭の（い本丹波農）
い本丹波農 梅ち里所面ぬ 許の安し堂
波留那李 波類な里 残月光礼留
（庵庭の 梅散り初めぬ この朝 春なり
春なり 残月光れる）
（A・T）



1404-105

157×198 まくり 1枚
左下落款「空」

故知らに 今日も旅寝を
遊へ志羅二 計布も 堂非称 遠閑散
称計類 波留乃 あし太乃 古乃春駕□
さよ
（故知らに 今日も旅寝を 重ねける 春
の朝の この清□よ）
（A・T）



1404-104

最長181×208 まくり 1枚

白玉は（志羅堂万盤）
志羅堂万盤 之東二之羅へ須 志羅須とも
餘之 和連乃美之礼波 非止二之羅へ須
東毛餘之
（白玉は 人に知らえず 知らずとも良し
吾のみ知れば 人に知らえずとも良し）
（K・M）



1404-109

171×231 まくり 1枚
左下落款

天地の
安面都地乃 め倶美を 有計天 気散毛万
堂 い川類日 志都閑二 於呂駕美二
氣里
（天地の 恵を受けて 今朝も又 出する
日静かに 拜みにけり）
（H・K）



1404-108

最長153×223 まくり 1枚
左下落款

ある時は（阿流止支波）
阿流止支波 十方空東 おもへ登母 散東
里可称 堂留 和礼能 あ王礼所
（ある時は 十方空と思えども 悟りかね
たる 吾の哀れぞ）
（M・I）



1404-107

193×250 まくり 1枚
左下落款

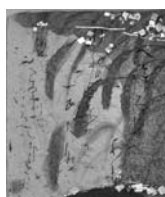
梅見れば
梅見連盤有連し可りけ□ 梅もへ盤 堂ぬ
し可里計里 梅よ 梅 梅
（梅見れば 嬉しかりけ□ 梅思えば 楽
しかりけり 梅よ梅梅）
（A・T）



1404-112

162×247 まくり 1枚
左下落款

縁かや
恵にし閑や ぬ万□能 波末の 有羅奈美
を 起々都々 堂末を非呂い け留可難
(縁かや ぬま□の浜の 浦波を 聞きつ
つ玉を 拾いけるかな)
(A・T)



1404-111

最長212×最長255 まくり 1枚
左下落款

遍路路や 吾これの一世を 一握の 米
を受けつつ 行くちよう思えば) (S・M)
へ牟呂しや 和礼 許礼の悲東世を 一あ
久能 許面を 有気川々 い久天布を毛
へ婆



1404-110

137×169 まくり 1枚
左下落款

かくしても (閑九し天も)
閑九し天も い支奈牟東 須か 丹無気牟
乃 萬地の遊支来を 和礼盤 見轉を李
(かくしても 生きなんとすか 人間の
町の行き来を 吾は見ており) (K・M)



1404-115

114×300 まくり 1枚
左下落款

山水



1404-114

69×369 まくり 1枚
左下落款

今年も
元旦 許登しも 以乃遅 堂万いて 以
太りけり 八十二のあ祢七十九の吾 賀
正
(元旦 今年も 命賜いて いたりけり
八十二の姉 七十九の吾 賀正) (H・T)



1404-113

最長122×214 まくり 1枚

かくしても (加九し天も)
加九し天も い支奈無止 寸迦 人間乃
許連乃世乃堂悲 於毛非見留可那
(かくしても 生きなんとすか 人間の
これの世の旅 思い見るかな) (K・M)



1404-117
最長122×最長344 まくり 1枚
左下落款「空」

白骨の 青葉若葉の (之羅本祢の)
之羅本祢の あを葉わか葉乃 面尔 志美
ぬ い傳遊尔あ連は あ李駕堂支 可裳
(白骨の 青葉若葉の 目にしみぬ 出湯
にあれば 有難きかも)
(T・O)



1404-116
62×348 まくり 1枚
左下落款

五月雨の
散美堂礼の可那しくなりぬ しみゝ東
あ面や免堂末へや万東可美加み
(五月雨の 哀しくなりぬ しみじみと
雨止め給え 大和神々)
(H・T)